

令和3年度第1回 洛西ニュータウンまちづくりネットワーク会議（まとめ）

開催日時	令和3年12月1日（水）午後6時30分～8時20分
開催場所	洛西支所2階第一会議室
議 題	◆ 話題提供①（京都市） ・ 洛西ニュータウンアクションプログラムの取組 ・ 新たな「京都市都市計画マスタープラン」「京都市住宅マスタープラン」について ・ データから見るニュータウンの現状 ◆ 話題提供②（洛西NT創生推進連絡会 福富氏） ・ 空き家対策活動に伴うアンケート集計結果 ◆ 各団体の活動紹介，課題等の情報共有 ◆ その他

「洛西ニュータウンアクションプログラム」の取組期間が令和2年度で終了したことから、「洛西ニュータウンアクションプログラム推進会議（以下「推進会議」といいます。）」を発展的に解消し、新たに「洛西NTまちづくりネットワーク会議」を開催しました。推進会議の委員を中心にメンバーを再構成し、新たな委員も参加しながら、まちづくりに関わる情報共有・報告等を行っていきます。

第1回は、推進会議の振返りや各団体の活動報告とともに、それぞれの課題認識を共有し、今後のテーマについて話し合いました。

主な内容，意見など

<推進会議の振り返り>

- アクションプログラムに掲げたほぼ全ての取組に着手し、一定の成果があった。
- 一方で、取組の数が非常に多く、計画期間内にすべての取組が解決しきれない面もあった。
- 計画期間後も各主体が継続してまちづくりに取り組むことが重要である。

<洛西ニュータウンが抱える課題について>

- 洛西ニュータウンでは、京都市全体を上回るペースで人口減少，少子高齢化が進行している。
- まちづくりの担い手の高齢化やコロナの影響により、自治会など地域活動の維持が難しくなっている。
- 人口減少に伴い、タウンセンターの商業機能低下が懸念される。
- サブセンターに求められる役割が変化している。
- 若い世代にとって住宅の選択肢が少ない。
- 今後空き家問題が顕在化する可能性がある。

<課題を踏まえた今後の会議の進め方について>

（事務局から提示したテーマ（案））定住人口増加によるNT全体の活性化

⇒空き家発生の予防・既存住宅も活用した若年層の呼び込み

⇒タウンセンター地区の再生・活性化（商業業務機能だけでなく、新たな住宅供給の検討）

⇒新たなニーズにも対応したサブセンター地区の継続的な活用検討

- ニュータウンにおける活動・サービス等を引き続き維持していくためにも、新しく入居してもらうための住宅の供給が必要ではないか。
- ニュータウン全体という大きな視点とともに、若い世代の方に、住民同士のつながりや地域活動の楽しさを知ってもらうなど、小さな積上げも大切にすべきではないか。
- サブセンターについて、若い世代も含めて、地域の身近な暮らしを支える集いの場としていくことを検討しても良いのではないか。
- テーマを絞らず、ワーキンググループを作るなどにより、ニュータウンに関わるあらゆる課題に住民等を巻き込んで、取り組んでいくべきではないか。
- ニュータウンに関わる全ての課題の解決を目指す事は現実的ではないため、次回の会議では特に課題となっている点にテーマを絞って議論した方がよいのではないか。
- 会議の内容を各学区・団体で情報共有するとともに、住民が洛西ニュータウンの将来について考え、地域に発信するなど、周知をしていくべきでは。また、必要に応じて公開討論会を開催するなどしながら進めていってもよいのではないか。

<第1回会議のまとめ>

- 少子高齢化の進行による地域活動の担い手不足や、コミュニティ形成の難しさ、若い世代が入居できる住宅の選択肢が少ない、などの課題がある。
- 一方で、必ずしも問題点ばかりではなく魅力も沢山ある。地域の魅力を若い世代の人にきちんと伝え、地域活動に興味を持ってもらうことが重要である。
- 人口減少はタウンセンターの商業機能低下など、まちの活力低下につながりかねない。子育て世帯等の居住を促進するための住宅の供給も必要である。
- 次回会議では、議題を「若年層を呼び込んでいくための既存住宅の利活用や新たな住宅の供給」に絞り、住宅供給や地域活動拠点の確保、いかに地域活動に参加していただくか、などについて話し合っていくべきではないか。

<第2回会議の進め方>

テーマを「若年層を呼び込んでいくための既存住宅の利活用や新たな住宅の供給」に絞り、具体的に議論する予定

作成：洛西ニュータウンまちづくりネットワーク会議
（事務局：京都市都市計画局住宅室住宅政策課）